

2画面で快適に■プロジェクター接続も

ノートパソコンの利点は、キーボードと画面が一体化して持ち歩きが簡単なことです。別の発想もできます。デスクトップパソコン用の余ったディスプレイをつなげば、より広い画面を使えます。同じ接続法で、プロジェクターをつないで人前での発表に使うことも可能。ノートパソコンのマルチ画面活用法を解説しましょう。

(ライター 猪狩友則)

てくらの生活入門



ノートパソコンをプロジェクターに接続してスクリーンにスライドを映し、人前でプレゼンテーションをしている様子を見たことはないでしょうか。これはノートパソコンの「外部ディスプレイ端子」にプロジェクターをつないで表示しています。同じ端子に、デスクトップパソコン用の単体ディスプレイも接続できて、この場合はノートパソコンのものと合わせて二つのディスプレイを使えます。

ただ端子に接続しただけでは、すぐ使えるようにはなりません。ウィンドウズXPやビスタなどでは、キーボード最上段に切り替え用のボタンが用意されています。多くは「Fn」ボタンを押しながらそのキーを押

すことで、ノートパソコンの画面と、接続したディスプレイの表示が切り替わります。一度押せば接続したディスプレイに表示され、もう一度押せば両方に表示され、もう一度押せばノートパソコンの画面にだけ表示される、といった具合です。実際のプレゼンテーションでは、手元でも確認できた方が見やすいので、同じ画面を両方に表示しておくのが一般的です。



一方、机の上で使うなら、両方に同じ画面を表示するのはわずらわしいので、大きい方の画面だけ表示してノートパソコンの画面を消すか、またはノートパソコンの画面を拡張して使います。おすめは後者です。

ノートパソコンの画面と、外

付けにしたディスプレイは物理的には別のものですが、あたかも一つのディスプレイのように使うことができます。手元のノートパソコンの画面からウィンドウを動かしていくと、そのまま接続したディスプレイの画面に移動していきます。

PDFの資料を外部ディスプレイに表示して参照しながら、ノートパソコンでワードやエクセルを開き、報告書をまとめるといった使い方は、一度やったらやめられないほどの便利さ。外部ディスプレイでDVDを再生しながら、手元のノートパソコンでウェブを見るといったこともできます。

設定は「画面のプロパティ」の「設定」タブで指定します。外部ディスプレイで表示可能な解像度はノートパソコンごとに異なります。マニュアルやカタログで確認しましょう。このため、高解像度のディスプレイを接続したとしても、そのディスプレイの最高解像度で表示できないこともあります。

ウィンドウズXPやビスタでは、切り替えや拡張表示の操作が別々でしたが、ウィンドウズ7では統一され簡単になりました。

た。ウィンドウズキーを押しながら「P」キーを押せば、「プレゼンテーション表示モード」を選択する「ウィンドウが表示され、」コンピューターのみ」「複製」「拡張」「プロジェクターのみ」を選択できます。もちろん「画面の解像度」でも同様の切り替えが可能です。

ウィンドウズ7がインストールされたノートパソコンでも「Fn」キーを使ったディスプレイ切り替え用ボタンが用意されていることもあります。ウィンドウズキー+Pと同じ動作をするものが多いようです。

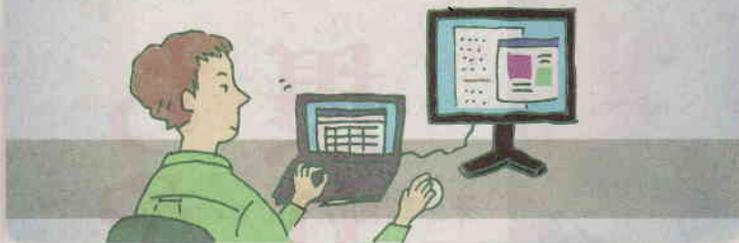


外部ディスプレイ端子のないノートパソコンなら、USB接続のディスプレイアダプターがおすすです。ただし、USBの転送速度は十分ではありません。そのため、カクカクしたりすることもあります。外付けのUSBハブではなく、パソコンに直接接続するようにしましょう。また解像度の制限もあるので、自分が使おうとしているディスプレイの解像度と、USB接続のディスプレイが対応している解像度が合致するか、確認してから購入するようにしましょう。

ノートパソコンの「画面」を拡張

設定方法

外部ディスプレイをつなぐ



プロジェクターにつなぐ



▶ ウィンドウズ XP とビスタの場合



画面の何も無いところを右クリック。XPでは「プロパティ」から「設定」タブを、ビスタでは「個人設定」から「画面の設定」を選ぶ(左はXP)。外部ディスプレイ(通常は「2」)を選択し、「Windows デスクトップをモニタ上で移動できるようにする」をチェック

▶ ウィンドウズ7の場合

ウィンドウズキー + P



ウィンドウズキーを押しながら「P」を押すと、上のような画面が表示される。ノートパソコンと同じ画面を表示したいなら「複製」、2画面で広く使いたいなら「拡張」、プロジェクターだけで表示したいなら「プロジェクターのみ」をカーソルで選ぶ



ノートパソコンのディスプレイと外部出力を切り替えるには、専用のキーを使う。通常は「Fn」キーを押しながら使うことが多い



表示画面を拡張する
表示画面を複製する
表示画面を拡張する
デスクトップを1のみに表示する
デスクトップを2のみに表示する

コントロールパネルの「ディスプレイ」から「解像度の調整」で、解像度などの変更も可能

接続は外部ディスプレイ端子に



多くのノートパソコンには、写真のような端子があるので、ディスプレイやプロジェクターのケーブルをつなぐ。アナログ(D-sub)接続のほか、新しい製品はデジタル(HDMIなど)が選べる場合もある。ディスプレイが対応しているかどうかには注意

外部ディスプレイ端子がない場合は

外部ディスプレイ端子がなければ、USB接続のアダプターがおすすめ。ただし、高速な表示が難しく、カクカクすることも。右のUSB-RGB/D2はデジタル(DVI-I)接続で1920×1200ドットの表示にも対応する。アナログRGB変換コネクターも付属



アイ・オー・データ機器
USBグラフィック
(USB-RGB/D2)
税込み実勢価格約9000円